

見える。
つなぐ。
ヤマハ。

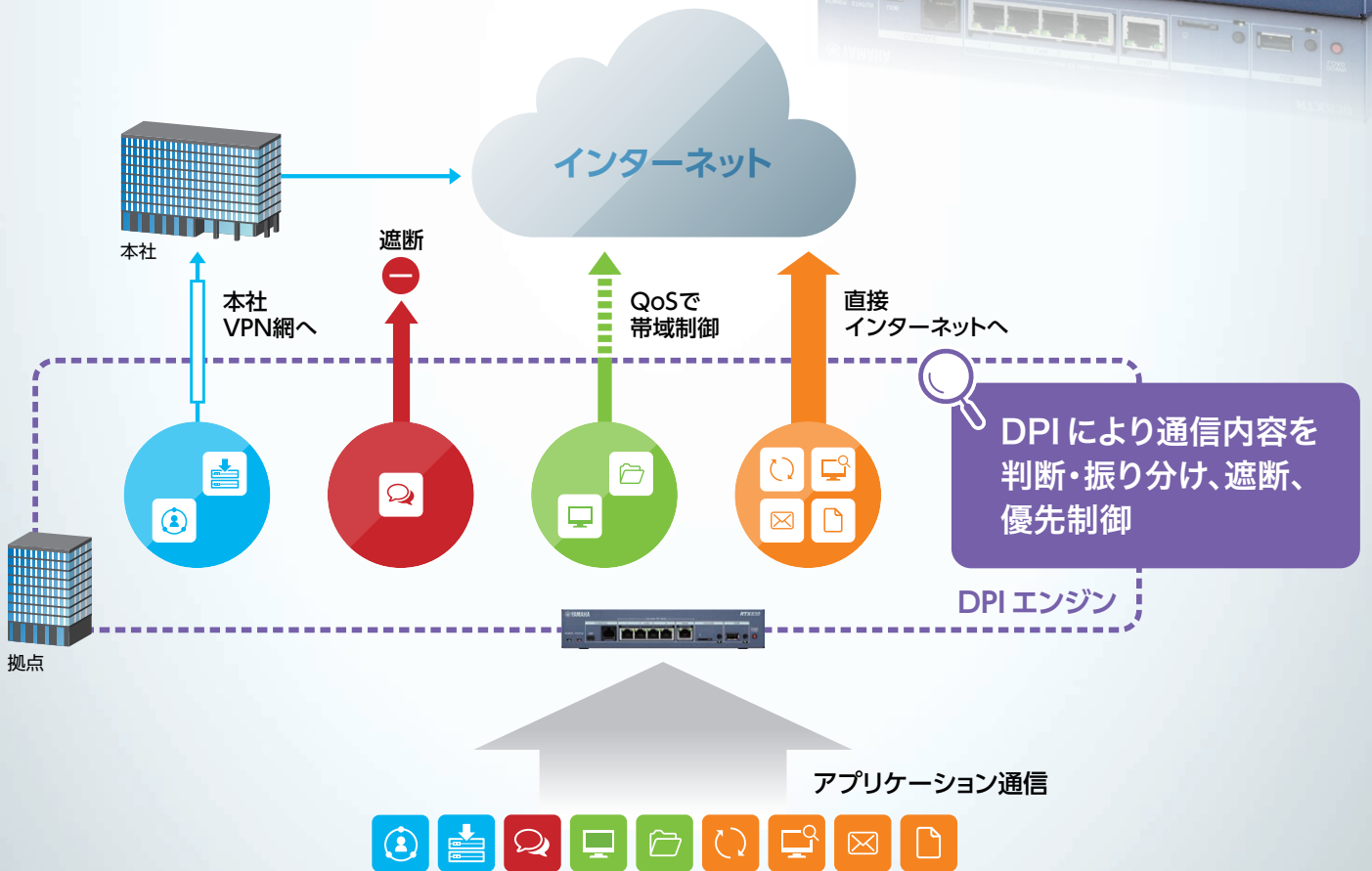
 アプリケーション制御ライセンス *New*

YSL-DPI

2019年9月発売予定

インターネットブレイクアウトを実現 ヤマハルーターの拡張機能をライセンス販売

DPI (Deep Packet Inspection) の技術を利用して、通信トラフィックをアプリケーションごとに識別し、ルーティング、QoS、フィルタリング処理を可能にする拡張機能をアプリケーション制御ライセンスとして提供します。近年、クラウドを利用する企業が増えているなか、拠点から直接クラウドにアクセスでき、拠点から本社やセンター拠点への通信量の増大を回避する「インターネットブレイクアウト」を実現します。



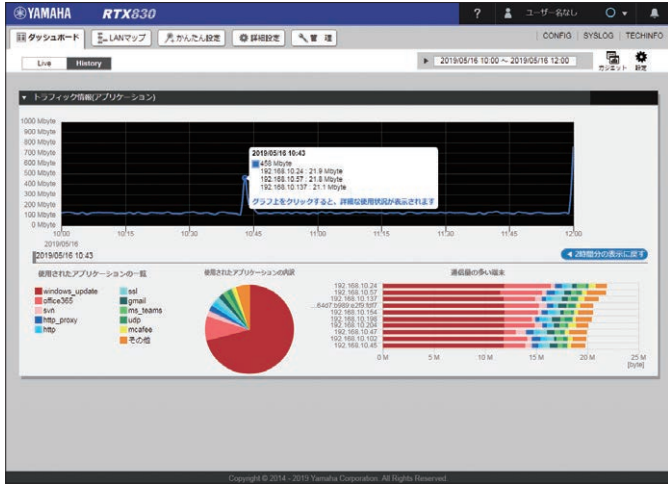
ライセンス一覧

| 品名 | 品番 | 対応ルーター | 希望小売価格<税抜> | 有効期間 |
|--------------|-------------|--------|------------|------|
| DPI Type1 1年 | YSL-DPI1-1Y | RTX830 | 23,500円 | 1年 |
| DPI Type1 5年 | YSL-DPI1-5Y | RTX830 | 70,500円 | 5年 |

※アプリケーション制御を利用するためには、9月下旬頃にリリース予定の最新ファームウェアへのリビジョンアップが必要です。 ※対応ルーターは今後追加を検討しています。

通信トラフィックの見える化

ルーターを通過する各アプリケーションの通信量を、ルーターのWeb GUI上のダッシュボードでグラフ表示することができます。すべての通信量はもちろん、通信量が多いアプリケーションや端末の確認も可能です。



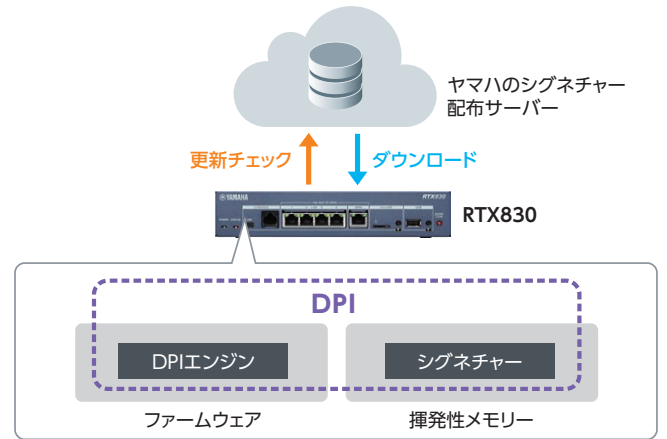
Web GUIによるかんたんな設定

アプリケーション制御の設定は、Web GUI上で主要アプリケーション群を選択し、破棄や経路選択をクリックするだけです。その他のアプリケーションの詳細な設定は、コマンドから設定可能です。



最新シグネチャーの自動更新

シグネチャーは日々変化するアプリケーションを識別するために定期的に更新されます。ヤマハルーターでは、シグネチャーの更新を定期的にチェックし、最新のシグネチャーが利用可能な場合にはダウンロード、自動で使用中のシグネチャーと置き換えます。シグネチャー更新時は発生している通信トラフィックへの影響はありません。



仕様表

| | |
|--------------------|---------------------------------------|
| 識別可能アプリケーション数 | 約3,000 |
| 最大アプリケーション制御スループット | 370Mbit/s |
| アプリケーション制御と連携可能な機能 | ダッシュボード、統計情報、フィルター型ルーティング、QoS、IPフィルター |

※上記は2019年9月下旬にリリース予定の「RTx830」におけるアプリケーション制御の仕様です。 ※識別可能アプリケーション数は、定期的にダウンロードするシグネチャーにより数が変わります。
 ※アプリケーション制御のスループットは、44Kバイト HTMLファイルのトラフィックを用いて測定しています。 ※フィルター型ルーティングはIPv6には非対応です。
 ※アプリケーションごとの経路の振り分けができるものとできないものがあります。

安全に関するご注意 ●本製品の設置、ご使用に関しましては取扱説明書などに記載されている注意事項や禁止事項をよくお読みの上、必ずお守りください。
 ●本製品の日本国外での使用については一切のサポート、保証をいたしません。●このカタログの記載内容は2019年9月現在のものです。●仕様は予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。●価格には本体設置費用は含まれておりません。●本カタログに記載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商標あるいは商標です。

本製品のお問い合わせ先 **ヤマハルーターお客様相談センター** ■お電話によるお問い合わせ先 **03-5651-1330**
 ご相談受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00 (土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。) ■FAXによるお問い合わせ先 **053-460-3489**

ヤマハネットワーク機器に関する詳細な情報はホームページをご覧ください > <https://network.yamaha.com/>



このパンフレットは無毒漂白(ECF)パルプを使用しています。



このパンフレットは植物油インキを使用しています。

お問い合わせ先